

やすらぎ

富良野協会病院広報誌 平成27年新春 第32号



2015.1.11 鶴居村にて（年賀状風に）



2014.7.28 へそ祭り集合写真

羽根田 俊

皆さん、新年、明けましておめでとうございます。

平成26年度は社会保険診療報酬の改正、消費税の8%への引き上げなどがあり、残念ながら4年振りの赤字決算が見込まれています。また、北海道社会事業協会、本院も、その経営、その姿勢を根本的な見直しをする必要がある厳しい状況です。今年の干支の「羊」は、「群れをなす羊は、家族の安泰を示し、いつまでも平和に暮らす事を意味する。」「羊という字はヒツジを正面から見た時の、角と上半身を表した形で、後ろ足までの全体を表した形が美という字で、成熟したヒツジの美しさを表している。」とされています。

このように「羊」には、共に暮らす、成熟するという意味があります。そこで、今年は、職員全員が共に病院を取り囲む現状を理解し、それらに速やかに、適切に対応、変化するという気持ちを持って、皆で頑張ってください。

今年が、皆さまにとって、良い年になるように祈っています。

新年の挨拶

看護部長 石川みつ子

新年あけましておめでとうございます。

昨年は本当に足早に過ぎ去った1年間でした。職員の皆様の力に支えられて、何とか無事乗り越えられた感じです。

2015年の私も出来るだけ前向きに、自分にできる目の前のことをひとつずつクリアしていこうと思っています。また、もっと皆さんの思いを汲み取って、今後の病院作りにつなげられたらと思います。今年新たに皮膚・排泄の認定看護師を目指してくれます。もっと他の分野でもやりたい看護を目指して欲しいと思っています。少しでも地域センター病院として、災害拠点病院として、地域に無くてはならない病院として患者様から信頼を得られるような病院でありたいと強く思います。

新年早々ホッとする間もなく、オーダーリング更新・電子カルテの導入が開始になります。経営改善などいろいろ厳しい問題も山積み抱えています。今年の干支の羊はみんな群れをなして家族のように幸せを築く干支だそうです。羽根田院長と共に、職員の皆様と頑張ってください。働きやすい職場にして皆様が明るく元気に仕事をすることができたならと思っています。今年も1年よろしくお祈りします。

12月23日3階講堂にて平成26年度永年勤続者表彰がありました。今年の表彰者は30年東海林 恵美子さん、小林 克司さん。20年表彰が山口 謙二さん、石橋 美知代さん、北本 広美さん、伊林 佐貴代さん、菅原 勝之さんでした。おめでとうございます。30年表彰を受けた小林さんから一言頂きました。

30年を振り返って

総務課長 小林克司

昭和59年に採用になり、気がつくとも30年経ってしまっていました。

医事課新患受付を皮切りに、外来会計・入院会計と担当しましたが、当時はコンピューターなど全くなく（総務課にタイプライターがあったのを記憶しておりますが・・・）毎日毎日カルテの表書きと会計カードの作成に明け暮れ、学生時代にはできなかった「ペンだこ」が出来たことを自慢した記憶があります。会計を担当したときは、もちろんコンピューターはありませんので薬・処置・検査等の計算は全て算盤でやっていました。当時当院以外には個人病院しかなく外来患者は平均すると800人～1000人以上の患者さんが受診していましたので、患者さんは今以上に待ち時間が長く毎日毎日、怒られたことを思い出します。

仕事以外に当時、野球部に所属し仕事の後は練習と試合の毎日、休日祝日返上、またレセプト請求期間中は練習・試合が終わった後に残業していました。元気だったなーと思います。

医事コンピューターの導入、オーダーリングシステムの導入、病院の火災、同僚の不慮の事故、病院新築移転など良いことや悪いこと、様々な経験をさせて頂きました。（※へそ祭りの参加回数、私が一番だと・・・？）

今まで勤務できたのは、先輩・同僚・後輩・家族の助けがあつてのことだと感謝しております。自分の身体もボチボチ壊れてきているので、体調管理に努め職務を全うしていきたいと思っています。今後ともよろしくお願い致します。



今年度の忘年会は例年より参加人数が多く大盛況でした。また、余興も昨年より一組多く参加して頂きました。ありがとうございます。連覇を狙う5病棟をおさえ6病棟が優勝しました。来年は巻き返しを狙うのか楽しみです。優勝した6病棟にコメントを頂きました。

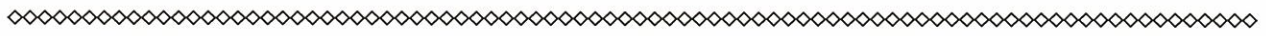


皆様、新年明けましておめでとうございます。

2014年度、忘年会で優勝した第6病棟です。私たちは、妖怪ウォッチならぬ、協会ウォッチを踊りました。短い練習期間の中ではありましたが、全員で協力し団結できたからこそ優勝できたと思います。余興を見た方は、お気づきかと思いますが、今回のポイントはどりー隊長ではなく、衣装です。Tシャツ1枚1枚に、コメントが入ったものでした。忘年会に参加出来ないスタッフも協力し、全員で衣装作りに取り組みました。また、会場にいる第6病棟メンバーは猫耳を付け、みんなで余興に参加しました。

委員だけでは優勝することは出来ませんでした。余興に参加して頂いた先生方をはじめ、衣装を作って頂いた第6病棟のスタッフに本当に感謝しています。来年度も優勝できるように第6病棟全員で頑張りたいです。

第6病棟 三浦 真希子



秋号が発行できなかったのが新春ではありますが昨年夏に行われたへそ祭りの写真を掲載します。



院内勉強会等 予定表

日時	テーマ	講師及び演者	企画	参加者数
2015.01.23	一民間病院の感染対策に携わって ～名ばかり I C D の活動記録～	回生会大西病院 和久勝昭先生	I C T	
2015.02.12	院内研究発表会		総務	
2015.02.24	NST 研修 活動報告	N S T 委員会	N S T 委員会	

最後の一枚



2015.01.11 入浴客とつがいの鶴

表紙の写真をと思い正月ニュースでみた丹頂を思い出し鶴居村に行ってきました。日の出まえから昼前まで2日にわたって撮影をしました。上の写真は最後の宿泊地でいきなり見た光景です。最初からここに来れば良かったのか？地元の人あまり気にしていませんでした。

編集後記

- インフルエンザの猛威も何とか一段落か、名ばかりの委員長はいつも木幡君におんぶにだっこ。りっぱな新年号が出来たと思っています。皆様新年早々風邪を召さぬ様。《白ヒゲ》
- 通勤のお伴、イヤフォンをちょっといいのに買い替えました。世界が変わりました《検査員13号》
- 今年の目標は星空撮影です《神》
- 今年のおみくじには一つも良い事が書いてない衝撃を受けました。《下っ端部員》
- 毎日五重の塔や首里城を鑑賞しています。熊本城もたまに見れます。《クラーク T》
- 年末ジャンボで一攫千金を狙いましたがやはり当たりませんでした。今年も堅実に働きます。《ナナコ》
- 今年は自分と向き合う1年にしたいと思います《MOT》
- 手指、踵のひび割れに悩まされる季節…全てに潤いが欲しいですね…。《なでしこ5》
- 誰か私のコリをほぐして下さい《DCHS》
- 雪かきしたら、大雪降りました。《ライスカレー》

富良野協会病院広報誌
やすらぎ 第32号
発行人 羽根田 俊
編集 富良野協会病院広報ホームページ編集委員会
発行日 平成27年1月